

春から研修医となります。コロナ渦でいつも通りできるのか不安もありますが、  
できることを積極的にやって確実に力を付け、少しでも信頼してもらえるような人間になります。  
今までは、学生として医療現場で実習してきましたが、  
これからは研修医としてではありませんが、医療行為を行うようになります。  
責任が大きくなりますが、自宅での学習や練習、現場での経験を通じて、  
技術を身に付けていきたいと考えています。  
また、医師は患者さんとの接し方が大事だと考えているので、  
医師としての基礎を、そして心を身に付け、  
後期研修医、専門医へ繋げていけるよう頑張ります。  
一人でも多くの患者さん、またそのご家族の笑顔が見られるように励んでまいります。

大学生時代は時間や心にゆとりが生まれ、自分自身を見つめ直したり、  
他の人を客観的にみられるようになりました。高校生時代にも感じていたことではありますが、  
暗記力や頭の回転など自分では敵わないと感じる人が周囲にいて、圧倒されました。  
しかし、塾で「結果を気にせず、自分の力を100%出すことに集中すること」、  
そして「何のために学ぶのか、学びの先になにがあるのか」と教えてもらっていたので、  
焦ることなくいろいろなことに取り組みました。  
学生という立場ではありますが、病院に出させてもらい、  
事故にあわれた方や病気で生死に関わるような方への治療の場面に直面し、  
今後私が行っていくことの責任ややりがいを学びました。

#### 「学志舎での思い出」

リレーマラソンに参加したり、徹夜の勉強会をしたり、地域のボランティア清掃をしたりと  
他の塾や予備校にはないイベントで、他の塾生やコーチの方々や仲良く勉強ができたことが思い出です。  
一方で、受験期にはコーチからの熱心な指導とともに、自習室で夜遅くまで同期と一生懸命勉強できたことが心に残っています。  
普通の予備校へ行っていれば受験に向けた勉強だけをやることになると思います。  
受験だけを考えれば、それが近道であるかもしれません。しかし私にとって学志舎とは、  
その後の大学で学ぶことや、就職に向けて…言葉では簡単には表せませんが、とても大切なことを学んだ場所でした。

卒業生 山本 大慈 富山大学医学部 6年

## 力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものだと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。  
「コーチ・coach」とは「馬車」の意。  
ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。



難問を解説

大慈君、もうすぐ卒業だね。おめでとう！初めて会ったときのことを覚えていますか。  
緊張していたのかな、私の印象では物静かな子だなと思っていました。  
しかし課題に対しても真面目に取り組み、黙々とこなしていましたね。  
その後、徐々に学校のことや家族のことなど色々話をしてくれるようになりました。  
私も君にいろんな話をしましたよね。私にとってそれが良き思い出となっています。  
たくさん悩んで苦勞して、医学部に合格した大慈君が、もうすぐ研修医になると聞き、  
担当コーチとして先輩として大変嬉しく思っています。いつかまたここで、  
笑顔で楽しく思い出話や仕事の話ができるといいなと思っています。  
なかなか厳しい仕事ですが、お互い頑張りましょう。  
希望だった脳外科医として、人生を賭して患者さんのために生きてください。

担当コーチ 安藤涼花 岐阜県 内科医



# 学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



〒500-8085 岐阜市白木町92番地  
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索



# 春期講習のお知らせ

詳細はHPを御覧ください

## 3月24日(水)～4月3日(土)



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

長かった冬も終わり春がすぐそこまで近づいてきました。  
進級・進学を前に、春から始まる新しい学校生活を待ち遠しく感じている生徒も多いと思います。  
さて、春休みは学力格差がつきやすい時期です。学年の学習範囲が一通り終わり、ほっと息が抜ける時期だからです。  
この時期に新学年の予習学習をするかしないかで大きな差がつきます。

通常授業 = 学校の成績を上げるために予習で授業を進めます。  
春講習会 = 次年度の成績を上げるために復習 + 予習で授業を進めます。

つまり、春期講習とは「次年度の成績を好位置でスタートさせるための準備期間」という位置付けになります。  
「春期講習での成果が1年間の成績を決める」と言っても過言ではありません。  
そもそも期間も短く、学年と学年の間でもあるので、これまでは春休み中に十分な学習を計画的にやることは少なかったと思います。  
だからこそ人よりも先んじて充実した学習をすることが重要だと言えます。

# 学志舎

岐阜市で24年の塾経営経験を活かし、  
お子さまのレベル・ステップに合わせたカリキュラムを組み立て、  
徹底した自律学習指導を行っています。

A君がお母さんと個別説明会に来たのは中1の秋だった。なぜか終始うつむき加減だった。  
説明会ではいろいろな話をするが、その時は「学力」＝「素質」×「時間」×「環境」という話をした。  
最後の「環境」というところで私はこのような話をした。  
『環境と言っても色々あります。今日は教室、教材など、ハード面ではなくマインドのことを話します…  
お子様は認めてあげることが大切です。「結果」ではなく「行動」を認めてあげる、さらにはその「存在」そのものを認めてあげる。  
わかりやすく言えば「あなたが頑張ったことがうれしい」さらに「結果がどうであれ、あなたはあなた。いてくれるだけでいい」そんなセンスです。  
そして他とは比べないことが大切です。私が我が子にできなかったことです。コーチングと出会う前は、本当にバカおやじでした。  
うちへ来る親さんには私のような失敗をしてほしくないのです。比べていいのはその子の過去とだけです。  
1年前と比べてどうなったのか、半年前と比べて、一か月前と比べて…。  
少しでも成長があれば認めてやればよかった。褒めてやればよかった。欠点ばかりを探さずに、良いところだけを見てやればよかった。  
そして言葉にしてやればよかったのに、当時の私にはできなかったのです。  
授業が終わった後、教室で仕事をしているとき、我が子のつらそうな顔が浮かんでくることがありました。  
そんなとき涙が止まらなくなって、一人で「ごめんな」と何度かつぶやいたことがあります。  
釈迦に説法かとは思いますが、私のような失敗をしてほしくないでお話しました。』  
お母さんはうつむいていた。そしてゆっくり顔を上げた。すてきな笑顔。  
説明会が終わって帰り際に「先生、今日は良いお話をありがとうございました。この子をよろしく願います」と。  
その後、懇談会ではいつもにこやかなお母さん。学業のことは最初の5分間くらいで、あとは世間話に花を咲かせた。  
懇談の最後に私は「塾に対して何かご要望がありましたら」と聞くと、いつも「お任せしておりますので、特にありません」  
これは塾人泣かせの言葉でもある。なぜなら最もプレッシャーのかかる言葉であるから。しかし逆に「よし!」と気合の入る言葉でもある。  
お母さんの後方支援のお陰で300点台だったA君は成績を上げ、1年後には450点を超え、翌年志望校に合格した。  
そして現在医師として活躍している。

—— 卒業生の思い出 ——

学志舎塾長 山田 勝登



## 自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」  
と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち  
「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、  
自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

## 国語力最優先指導

20年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、  
国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、  
すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。  
そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、  
その結果で証明してきたのです。

## 褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、  
24年の経験の中で間違いありません。  
学志舎は18年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、  
良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。



### 小学部

中学・高校の6年間で花開く  
「基礎学力」を徹底して作るコース

勉強の習慣付け



### 中学部

高校受験のための教科力と  
自律の養成を徹底して行うコース

朝6時オールナイト学習会終了



### 高校部

本格的な大学受験のための  
学力形成を徹底して行うコース

合格おめでとう!

〒500-8085 岐阜市白木町92番地  
【お問い合わせ】平日10:00～21:00  
**☎ 058-265-4562**  
【感染症対策実施中】



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索